

ふれらんど お花畑プロジェクト 植え付け後報告レポート

R2. 10. 29 VOL. 5

<観察してわかったこと>

- アリッサム、バーベナ、マリーゴールドが枯れていた。しかし、サイロの裏側にあるマリーゴールドは、きれいに咲いていた。サイロの陰で風がさえぎられ温度が他より高いのかも？
- アイスランドポピーは、うす黄色でかわいく、寒さに強いので、まだ花が咲いていた。
- カリフォルニアポピーの種は、ほそ長く、中は黒くなっている。
- マリーゴールドは、種は作られているが、種も寒さに弱いため越冬できず、来年の発芽は難しい。
- 花によって耐寒性が違うので、枯れてきているのもあれば、しっかり咲いている花もある。



コスモスとシャーレーポピー



アイスランドポピー



カリフォルニアポピーの種

<杉若さんに教わったこと>

- 虫媒花（ちゅうばいか）…虫を介して受粉する。虫をおびき寄せるため、花の香りや色がカラフル。
- 風媒花（ふうばいか）…風に乗って受粉する。桜や杉など花の色はカラフルではないが、たくさん花を咲かせて風で花粉を飛ばす特徴がある。
- 多年草は、雪の中で根が活着しているが、1年草は根から枯れる。
- シロバラヘビイチゴというイチゴを品種改良して様々な種類のイチゴができています。これが、普段スーパーで売っているイチゴ。



<感想>

10月末のこの時期でも花は咲いていました。寒くなってきましたが、まだ花を楽しむことができます。

最後に、8月1日に植えた種だんごの成長過程を9月3日から2週間おきに観察させていただきました。コスモスやポピーなど、花がとてもきれいでかわいくて、今回で観察が終わるのは名残惜しいです。

毎回の観察の際には、杉若さんや三浦さんに花のことを詳しく教えて

もらい、とてもありがたく思いました。教えてもらった事を忘れずに、頭にしっかり入れておき、別の場面でもいかせるようにこれからも頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。



<担当；恵庭南高校ボランティア部 工藤、梁川、樋口>